

Sankka

讃歌
春号

京都九条病院 Communication Book

特集 医療法人同仁会リハビリテーション部
私たちは、患者さんの
目標到達のために
ベストを尽しサポートします。

特集 訪問看護ステーションMM
地域の方々が安寧あんねいに暮らせるように—。
私たちは、行き届いた
訪問看護、介護サービスを提供します。

コミュニケーション広場
知ってよかった「お薬豆知識」講座 第8講目
暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第7講目
ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第11弾
私の病院自慢あれこれ 第11回
院内散策
『第3回院内コンサート』



リハビリテーション部
部長 稲岡 秀陽



院長 山本 垂水

vol.11
2008 Spring
春号

Kyoto
Kujo Hospital



医療法人同仁会リハビリテーション部

私たちは、患者さんの目標到達のために
ベストを尽しサポートします。

リハビリテーション部
稲岡部長にお話を伺いました。

質の高い治療を
提供するために、
スタッフ全員に万全の
教育を行っています。

私たちは、どの患者さんに対しても、つねにベストのリハビリテーションを提供することが使命だと思っています。スタッフの中には経験年数が浅い者もいますが、患者さんからすれば、担当者が新人だったからうまく治療できませんでした、などということは許されません。当部では、患者さんお一人につき、療法士担当性となっていますが、経験年数1、2年目の療法士に



Hideyo Inaoka

京都九条病院
リハビリテーション部 部長
理学療法士

稲岡 秀陽

は2、3年目の療法士が指導し、その上に、さらに経験者が指導・教育を行う。一人の目で診て、評価、治療するのでなく、さまざまな療法士で患者さんに対して治療を提供できるようなシステムを組んでいます。また、たとえベテランスタッフでも一人で患者さんに対応していると、治療が自己満足になる恐れがあります。そのため症例検討会を行い、患者さんにとって現状のリハビリが最良かどうか、スタッフ全員で検討するようにしています。私たちは、できるだけ多くのスタッフがひとりひとりの患者さんに関われるようにし、必ずフィードバックを行うことで、よりよいリハビリテーションを提供したいと考えているのです。

「歩きたい」ではなく
「何で歩きたいのか」。
目的をはっきり
させることが重要です。

特に、リハビリテーションを始める前に、まずその患者さんが最終的に何をされたいのかを明確にするようにしています。「家に帰りたい」という方が多いのですが、実は「なぜ家に帰りたいのか」が大切です。具体的に言つと、「自宅に帰ってどのように過ごしたいのか」ということです。「歩きたい」「ごはんを自分で食べたい」など希望はさまざまですが、「こうしたい」と言われた心の中を一緒に具体化することで、今何をすべきなのかわかってきます。たとえば、「歩きたい」の裏側には、「誰にも迷惑をかけずにトイレに行きたい」といった気持ちがあります。このようにお一人お一人のご希望をお聞きすることで生活も見えてきます。このことが本当にその方を満足させ、自己の尊厳を守ることに繋がると考えます。

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

リハビリとは単に「悪いところを良くする」ということではありません。今残されている能力を使って今できることは何か、



mam flora

そこから始めることが大切なのです。右手が動かないのならば、左手を使ってできることをする。動かない右手に固執して動かす練習をしていたために、自分で食事ができるようになるまで1ヶ月もかかってしまった、ということになれば栄養状態まで悪くなってしまうです。左手を使ってスプーンを使う練習をしながら右手でお茶碗を持つるようにしていくという方が精神的にもよいし、モチベーションも上がります。



患者さんが倒れて、急性期治療を受けて命が助かったという場合、病状が落ち着いて初めて家族は、「この人は今後どうなるのだろう」と考えられます。でも、私たちは、急性期の段階で何ヶ月後にはどういう状態になるという病後予測をして、ご家族にどうされたいかを伺い、リハビリを始めます。意識のない状態でリハビリを行うことにご家族の方が驚かれることもあり

急性期から回復期、維持期、さらに退院後まで、トータルなリハビリを行っています。



ますが、在宅復帰してからのことを考えると、できるだけ早く始めることが大切なのです。人工関節の手術をされる場合なども手術前から杖をつく練習をして、手術が終わったらまたすぐ再開します。脳血管疾患も発症後すぐから主治医の指示のもとでリハビリスタートになります。循環器、内科でも寝ている間にも筋肉が落ちるので筋力強化や呼吸器を鍛えるリハビリをします。

次に、症状が安定して亜急性期の病室に移られたら、安心して帰っていただけるように退院前訪問指導の支援を行います。当リハビリテーション部の特徴は急性期から回復期、維持期さらに退院後までトータルに患者さんに対応するという点です。患者さんには、すべての期間にわたるケアが必要だからです。リハビリの主人公はあくまで

mam cuore



リハビリテーション部

理念

人々が尊厳を持って人生を全うできるように、個別性を重視したリハビリテーションを提供いたします。

基本方針

1. 私たちは常に、個人の生活機能を総合的に見ることで専門職であるために自己研鑽に努めます。
2. 私たちは常に、チームの一員である事を自覚し、多角的な視野・思考を持ち協調性を発揮します。
3. 私たちは常に、自己のあり方を観察し、知性と感性の両面で発展した個人を目指します。
4. 私たちは常に、安全に配慮し、安心した環境の中で質の高いリハビリテーションを提供いたします。

患者さん。私たちは、患者さんを自分の大事な人だと思つて治療に当たるように日々心がけています。
(談)

小林 厚美

西村 淳子

吉田 祐貴子

所長
中村 博美

主任
近藤 鏡子

柴田 ます美

中尾 静佳

洲見 和子

特集2

訪問看護ステーション・مام

地域の方々が安寧あんないに暮らせるように。

私たちは、行き届いた

訪問看護、介護サービスを提供します。

病院と連携した訪問看護ステーションなので、安心して利用していただけます。

京都九条病院 看護課長
南田 喜久美
Kikumi Minamida



南田 京都九条病院訪問看護ステーション・مامでは、看護・介護支援が必要な方のご自宅に看護師・介護士を派遣し、看護・介護サービスを提供しています。当ステーションが他の訪問看護施設と大きく異なるところは、京都九条病院看護部の所轄にあ

り、病院と連携している点です。看護や介護サービスを行うときに困ったことが起きたら、直接病院の医師に連絡して指示を受け、適切な対応をすることができます。また緊急時には直ちに京都九条病院に入院していただくことも可能です。

中村 京都九条病院に入院されて、退院後に訪問看護・介護を受けられる場合は、患者さんがご自宅に戻られたときに備え、入院中から訪問看護師が病院のカンファレンスに参加し情報を集め、病棟を訪問して状態を把握しますので、安心して在宅復帰していただけます。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



京都九条病院
訪問看護ステーション・مام
所長

中村 博美

Hiromi Nakamura

専門性を生かし、利用者中心の質の高いサービスを提供しています。

中村 当ステーションは、「利用者の方が良い健康状態を保ち、安心して生活できるように、スタッフが専門性を生かしケアを提供します。看護師は利用者の方の様々な状況に対処しなくてはなりません。食べ物や飲み物、飲み込みめない場合は嚥下の練習を実施し、その方法をご家族の方に説明します。また、痰の吸引指導・栄養指導なども行います。専門知識プラス、様々な分野をカバーする総合的な知識が要求される訳ですが、病院には管理栄養士や理学療法士など各分野の専門家がいますから、必要な

ときにはいつでも連携できるようにしています。自宅に伺っている時、その瞬間に利用者の方の状態を判断しなければなりません。訪問看護師はちょっとした変化でも見過ごしたり、判断ミスをしてしまったら大変です。利用者の方にとっても、私達にとっても身近に病院があるということは、非常に心強いですね。

南田 よりよいサービスを提供するためには、スタッフ間の情報交換が大切です。その点、当ステーションのスタッフは全員が常勤ですから、コミュニケーションがとりやすいですね。



京都九条病院
訪問看護ステーション・مام
主任・介護福祉士

近藤 鏡子

Kyoko Kondo

個人のニーズに応える看護、介護を目指して更なるサービスの充実をはかります。

近藤 看護・介護、両方のサービスを利用されている方もおられるので、毎日お昼にミニカンファレンスを開いて、全スタッフが利用者の方全員の情報を共有するようにしています。それぞれ担当は決まっていますが、誰が伺っても対応できますので、いつでも安心して利用していただけます。

中村 24時間、連絡が取れる体制をとっております。何かあったらすぐ駆けつけて対応いたします。

近藤 自宅では利用者の方が主人公です。だからこそ、たとえ歩けなくてもできる限り自宅で暮らし続けたいと望まれるんですね。ただ、その希望がかなう

ように「運動」「入浴」「デイケアなどを利用して他の人との会話を楽しむ」といった健康維持のための提案を行っても、受け入れていただけないこともあります。その方の生き方、考え方を尊重し、どう健康維持を図っていくかが重要です。さらに経験を積み、自己の人間性に磨きをかけて、こうした課題を克服していきたいと思っています。

南田 南区は高齢者が多くお住まいになっていますし、独居の割合も高いです。訪問看護・介護の必要性はますます高まると思います。地域の方々が安心して自宅で暮らせるよう、さらにサービスの充実を図っていきます。

MEDICINE
for **H**EALTH

知ってよかった「お薬豆知識」講座

講師：京都九条病院 薬剤部長
友沢 明德
Akinori Tomozawa

禁煙治療の幅を広げる、
新しい薬が誕生します。



昨年六月、京都市でも路上喫煙等防止条例が施行され、今年六月からは、禁止区域での違反者に過料千円が課せられることになりました。喫煙そのものの賛否はさておき、少なくとも子供など弱者保護の観点からは、歓迎すべきことではないかと、私たちが医療者の立場からは、これがタバコについて考えるよい機会となることを希望します。



昨年六月、京都市でも路上喫煙等防止条例が施行され、今年六月からは、禁止区域での違反者に過料千円が課せられることになりました。喫煙そのものの賛否はさておき、少なくとも子供など弱者保護の観点からは、歓迎すべきことではないかと、私たちが医療者の立場からは、これがタバコについて考えるよい機会となることを希望します。

ニコチンという名のこの薬は、ニコチンが作用する神経に先回りして邪魔をするので、タバコを吸ってもイライラが解消されたり、頭がすっきりしたりする効果が得られにくくなります。つまり、タバコを吸ってもおいしく感じない状態を造り出すというのです。しかも、わずかながらニコチンの働きをし、禁煙によるつらい症状を程よく緩和します。さらに、この薬の利点はのみ薬であるという点です。ニコチンパッチでは、八割以上の方に何らかの皮膚のトラブルが起き、中断することもしばしばでしたが、この点は問題になりません。一方、今のところ重い副作用は認められていませんが、日本でははじめての薬なので、まずはニコチンパッチでうまくいかなかった方から試されるとよいでしょう。



NURSING
for **H**EALTH

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部 手術中材室 看護師
青陽 和代
Kazuyo Aoyu

笑って元気回復、
私のネガティブ思考
撃退法。



「最近、どこでも「ストレス」「憂鬱」「イライラ」といった言葉を見聞します。リフレッシュやリラクゼーション解消の対処法に関する情報もあふれているように感じます。しかし、一言でストレスと言っても感じる度合いは人それぞれ、強くストレスを感じている場合は、思考回路をポジティブに変えたただで急に元気がリフレッシュになるものでもないと思います。



私たちの職場では、非常な緊張感のなかで、安全でスムーズな手術が遂行されるように必死に頭の中を働かせ、身体もテキパキと動かしています。時に「あ、どうして思うように行動できないんだろう、私はだめだ」とネガティブな気持ちになることもしばしばです。そんな私がストレスを溜め込まずに毎日行っている

「ウイスキー、大好き」と鏡の前で言ってみてください。これは吉本興業の女性ピン芸人、人気急上昇中のエド、はるみさんネタのつななのですが、試してみると必ず口角が上がります。それを繰り返していると、段々そんな自分に笑えてきます。そうならば、チガウ！親指を立てて自分を誉めてあげてください。顔が笑えないときは、声だけ、わっはっはっは」と笑ってみてください。





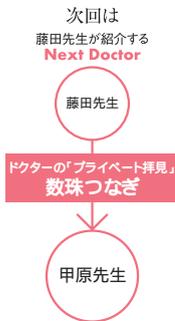
この病院の6階にある
職員食堂から見える
風景が好きです。

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 整形外科

藤田 信彦先生
Nobubiko Fujita



千二百年の古都京都のシンボルの一つ世界文化遺産の東寺の五重塔、現代建築の粋を集めた京都駅、独特のロウソク型の京都タワー、大文字山、切れ目なく連なる緑の山々の稜線、そんな風景を横切ってさあ — っと走り行く新幹線。見晴らしのいいこの職員食堂からは、新しいものと古いもの、自然と人工美が違和感なく混在する京都の景観が、



パノラマで見渡せます。休憩もままならないほど忙しい時も、昼食を取りながら窓の外に広がるこの景色を眺めていると、「ふっ」と我に帰り、心が和み気持ち落ち着きます、ここが私の癒し空間の一つなんですね。

休日には特別こうすると決めている訳ではありません。ゆっくり睡眠を取ってのんびり過ごし、仕事の緊張を解きほぐして、明日への英気を養うようにしています。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。
病院のここが好き!!

好きな言葉 favorite word
「One Love」
岡本 勝博
リハビリテーション課 理学療法士

リハビリテーション課の良い所は、それぞれが一人一人の患者さんに対して、個性を重視し、その方に適した最良の方法を提供しようという姿勢をみんなが持っているところです。リハビリはまず、ご本人にがんばろうという気持ちになっていただくことが重要だと考えます。できる限り患者さんの気持ちに近づいて、その方が人生で何を大切にされているかを理解し、やる気を引き出すようなアプローチをしていきたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「思いやり」
木村 真知子
事務部 医事課

職員の仲がいいんですよ。良いところは褒めてくれるし「こうの方がいいよ」という意見も遠慮なく言い合えるので、互いに向上できるんです。問題があれば課を越えて皆で解決策を探りますし、職場の一体感は抜群ですね。外来受付や書類の作成が私の仕事。医療事務は多岐に渡り、覚えなくてはならないことが膨大で、まだまだ勉強の毎日ですが、成長しているという充実感があります。テキパキと仕事をこなせて、且つ患者さんに親しみを持ってもらえる職員が理想です。

好きな言葉 favorite word
「平穏」
國永 智昭
薬剤部 主任

東寺が見えるシチュエーションが自慢ですね。大らかで清々しい寺のたたずまいは心を癒してくれます。夜のライトアップされた五重塔もいいですよ。薬剤部の中でも私は医薬品情報、特に薬の副作用関係の情報管理をしています。薬は必要なものですが、副作用もあります。その副作用をしっかりとチェックし、薬が患者さんの不利益にならないようにすることが重要。安全な治療を提供できるように、熱意を持って薬の専門家としての使命を果たして行きたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「誠意」
江端 雅之
看護部 3階整形外科病棟

皆が熱心に患者さんの訴えを聞き、しっかりそれを受け止めるところです。患者さんの中には鎮痛剤だけでは痛みが緩和されず、夜中に何度もナースコールし、不安を訴える方もおられます。でもその心に寄り添いゆっくり話を聞いただけで安心し、苦痛を訴えなくなる場合もあるのです。できる限り患者さんと向き合い、安心感を与えられる看護師になりたいと思っています。それと、この病院は男性看護師が気持ちよく働ける職場。ぜひ仲間が増えてほしいですね。

院内散策

さんさん

『第3回院内コンサート』

主催 京都九条病院



音楽でひと足早いクリスマスを楽しんでもらおうと、平成19年12月16日の日曜日、京都九条病院主催のクリスマスコンサートが開かれました。会場の階待合室には開始時刻よりかなり早くからお客様が集まり始め、コンサートがスタートした午後2時にはあふれるほどの人数に。これまでの2回の院内コンサートを上回る大勢の方にご来場いただき、大盛況となりました。

出演は、山木院長もホルン奏者として参加されている「京都シラフエ」の皆さん。今回はオーボエ・ファゴット、



ホルン、リコーダー、クラリネット、リコーダー、フルート、リコーダー、編曲の7名のメンバー編成でクリスマスにちなんだ曲を中心に演奏を披露してくださいました。

プログラムは木管五重奏、大・中・小の3種類のリコーダーのアンサンブル、フルト&オーボエという木管楽器による構成。「クリスマスメドレー」「サンタが街にやってくる」「アメーzingグレイス」など、おなじみのメロディが奏でられ、会場は聖夜の雰囲気になりました。もちろん院内コンサートならではの楽しい趣向もいっぱい。なかでも盛り上がったのは、同じ楽曲をホルン・タンゴ・ホルンバの3つのリズムで演奏する、「3つのダンス」です。軽快なテンポのダンス音楽が愉快だったようで、あちこちから朗らかな笑い声が上がっていました。コンサートの中にはサンタさんも登場し、ひとりひとりにハンドタオルをプレゼント。このサプライズにはお客様も大喜びで、笑顔がこぼれました。



ラストは「水戸黄門のテーマ」「青い山脈」「きよしこの夜」の木管五重奏。「水戸黄門のテーマ」では、職員のリードでメロディーに合わせた体操も行われました。体を動かすと皆さんいつそう元気が出たようでマイクが回つてくると次々と歌声を披露され、最後は全員での大合唱に、ひと味違うコンサートを存分に満喫された様子でした。



今回のコンサートも会場の整備や飾り付け、ポスターやプログラムの作成等、すべて病院の職員が行いました。その甲斐あって、たくさんの方々に喜んでいただくことができ、同心より嬉しく思っています。これからも趣向を凝らしたコンサートを開いていく予定です。今度はどんな音楽に出合えるか、楽しみに待っていてください。

医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311 www.kujohp.com/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マム フローラ**
〒601-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マム クオーレ**
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam_c/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16
TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s/

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6135 www.do-clinic.com/yobo/

京都九条病院(提携) 同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/